

# 線形代数学・同演習 A

## 4 月 19 日分 演習問題

- 2 次正方行列  $A, B$  に対して,  $\det(AB) = \det(A) \det(B)$  が成り立つことを証明せよ.
- 平面  $P: ax + by + cz = d$  の法線ベクトルを  $\mathbf{a}$  とし, 平面  $P$  上の 1 点  $\mathbf{x}_0$  を一つ固定する.  
このとき, 平面  $P$  上の任意の点  $\mathbf{x}$  に対して,  $(\mathbf{a} | \mathbf{x} - \mathbf{x}_0) = 0$  が成り立つことを示せ.\*<sup>1</sup>
- 次の 2 本のベクトル  $\mathbf{x}, \mathbf{y}$  のなす角度  $\theta$  を求めよ ( $\cos \theta$  を計算するだけでよい).<sup>\*2</sup>

$$\begin{array}{ll} (1) \mathbf{x} = {}^t(1, 2), \mathbf{y} = {}^t(2, 1) & (2) \mathbf{x} = {}^t(1, -2, 3), \mathbf{y} = {}^t(2, -3, 1) \\ (3) \mathbf{x} = {}^t(1, 1, 1), \mathbf{y} = {}^t(-1, -2, 1) & (4) \mathbf{x} = {}^t(1, -1, 1), \mathbf{y} = {}^t(-1, 2, 3) \end{array}$$

- 空間の点  $(1, 2, 3)$  を通り, 方向  $(0, 2, 1)$  を持つ直線の方程式を求めよ.
- 空間の点  $(1, 0, 3)$  を通り, 法線ベクトル  $(0, 2, 1)$  を持つ平面の方程式を求めよ.
- 次の空間の三点を通る平面の方程式を求めよ.

$$\begin{array}{ll} (1) (1, 1, 1), (1, 2, 3), (3, 2, 1) & (2) (1, 1, 0), (0, 1, 0), (0, 0, 1) \\ (3) (2, -1, 3), (-1, 2, 1), (3, 1, -1) & (4) (a, 0, 0), (0, b, 0), (0, 0, c) \end{array}$$

- $l_1, l_2$  を以下で与えられるような直線とする:

$$l_1: \mathbf{x} = \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ -2 \end{pmatrix} + s \begin{pmatrix} 3 \\ -1 \\ 2 \end{pmatrix}, \quad l_2: \mathbf{x} = \begin{pmatrix} -4 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} + s \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 3 \end{pmatrix}.$$

次の平面の方程式を求めよ.

- 点  $(1, -5, 4)$  を通り, 直線  $l_1, l_2$  に平行な平面,
- 直線  $l_1$  を含み, 直線  $l_2$  に平行な平面.

- 原点と平面  $2x + y - 2z = 1$  との距離を求めよ.\*<sup>3</sup>
- 3 次元空間において, 原点  $O$  と直線  $l: \mathbf{x} = {}^t(1, -5, 2) + s {}^t(1, -1, 1)$  との距離を求めよ.\*<sup>4</sup>
- 次の空間内の 2 本のベクトル  $\mathbf{x}, \mathbf{y}$  に対して, その外積  $\mathbf{x} \times \mathbf{y}$  を求めよ.\*<sup>5</sup>

$$(1) \mathbf{x} = {}^t(2, 0, 0), \mathbf{y} = {}^t(0, 0, 4). \quad (2) \mathbf{x} = {}^t(1, 1, 1), \mathbf{y} = {}^t(1, -1, 0).$$

- \* 次の 2 平面の交線を求めよ.

$$\begin{array}{ll} (a) P_1: 2x - y + z = 3, & P_2: 3x - 5y + 2z = 1. \\ (b) P_1: 2x + 2y - 2z = 3, & P_2: x + 2y + 3z = 5. \\ (c) P_1: x - 2y + 5z = 0, & P_2: x - y + z = -2. \end{array}$$

\*<sup>1</sup>  $\mathbf{x} - \mathbf{x}_0$  は平面  $P$  に沿ったベクトルなので, これより平面  $P$  の法線ベクトルとは“平面  $P$  と直交しているベクトル”であることが分かる.  $\mathbb{R}^2$  における直線の法線ベクトルも同様である.

\*<sup>2</sup>  ${}^t(1, 2) = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$  という意味. 縦のスペースをとるので, 文書ではこのように書くことも多い.

\*<sup>3</sup> 原点と平面上の点との距離の最小値を求めよ, という問題. 実は, 法線ベクトル  $\mathbf{a}$  が関わってくる.

\*<sup>4</sup> 問題 8 と同様, 原点と直線上の点との距離の最小値を求めよ, という問題.

\*<sup>5</sup> 次週, ここ (演習問題) で簡単な計算方法を紹介する.